傳家四合原氏 十六

特別
へ13
4271
16

十六編上

小野
篁
百人一首

国貞画

N13
4274
16

91-2347

天保乙未發春

偐紫田舍源氏

第十六編上冊

柳亭種彦作

歌川國貞画

仙崔堂板

偐紫田舍源氏第十六編

梅ぞ春万葉のめ亀なり　昔の草雙子に序あり源氏ゆ
男色ゑ。お湯とゆのがそれかも知らねど祈祷ひとつだろ
のそ薬と春ゐる事もゑ。それゑろもまでの梗概と初めまりけて緩しが
二編の序ゑ記しぬく。ぬく。葉の加ゑまで槽つゆゑれど化者の用心あゆ
黙ひの外ゆ須ナ明ゑの浦まで船ハ槽つゆゑれど化者の用心あゆ
ゑれば暑ゆ帆もあげぐて保ゆの渕の最ゑぐて伝様もあたなり
事ゆゑ。行燈屏風脇息の形さえ安おど。東山の時代ゆ夢ゆも
知らぬ褥枕比翼芝延まで画きゑ。ゑ家ゆうちたれて蚊屋の
ゑきのへ麻ゑらんと机帳ゑえて源氏ゑ蚊帳ゑちめて画きゑ。ゑのとゑりと
昔ゑの草雙紙ゆへ序らゑきめゆ書つけておくこと

天保六年乙未春　柳亭種彦

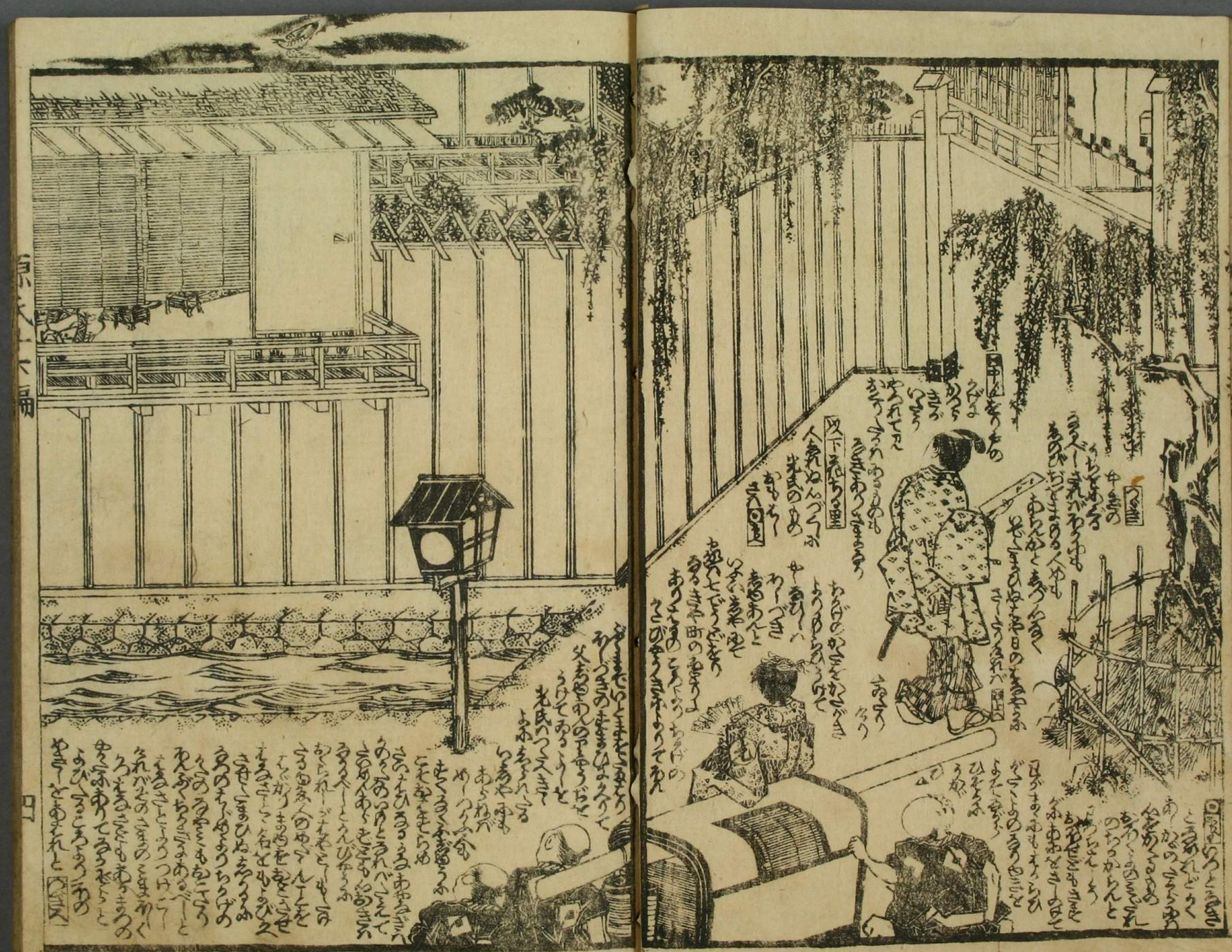
とちかへりえを
見くれ出

綾浮
眉を
拂ひ
名を
花郷と
よび
久

ほとゝぎす
あの
くらひ
病のき孫よ

太秦廣隆寺
本尊ハ藥師如來
なり七日籠アの
事ハさしを
日記よりをそれハ
それを花ちる
里の趣向ハ
かりちひ
う

太秦
ハ
七日
籠り
する
圖



種彦作　國貞画

田舍源氏錦繪　ふぢのあるところ所を追ふ出板仕ル　歌川國貞画

前北齊為一翁画　江の島大山往来雙六　柳亭撰

先年より夷ひろめ多く板行ひろめ此度板を彫あらため別て紙摺り等精密に相製ル

同翁画東海道五十三次錦繪　中奉書八ツ切り

是又佳紙を撰ミ摺彩色袋入に製し　おきゆる所年玉等

考訂大和詞　柳亭校　弄花翁撰

歌舞妓年代記初編拾遺　柳亭種彦編

故馬馬翁の書ひらされる事ども　近刻

江戸通油町地本書林　仙鶴堂　小林喜右衛門印行

十六編下

鶴屋壽輝

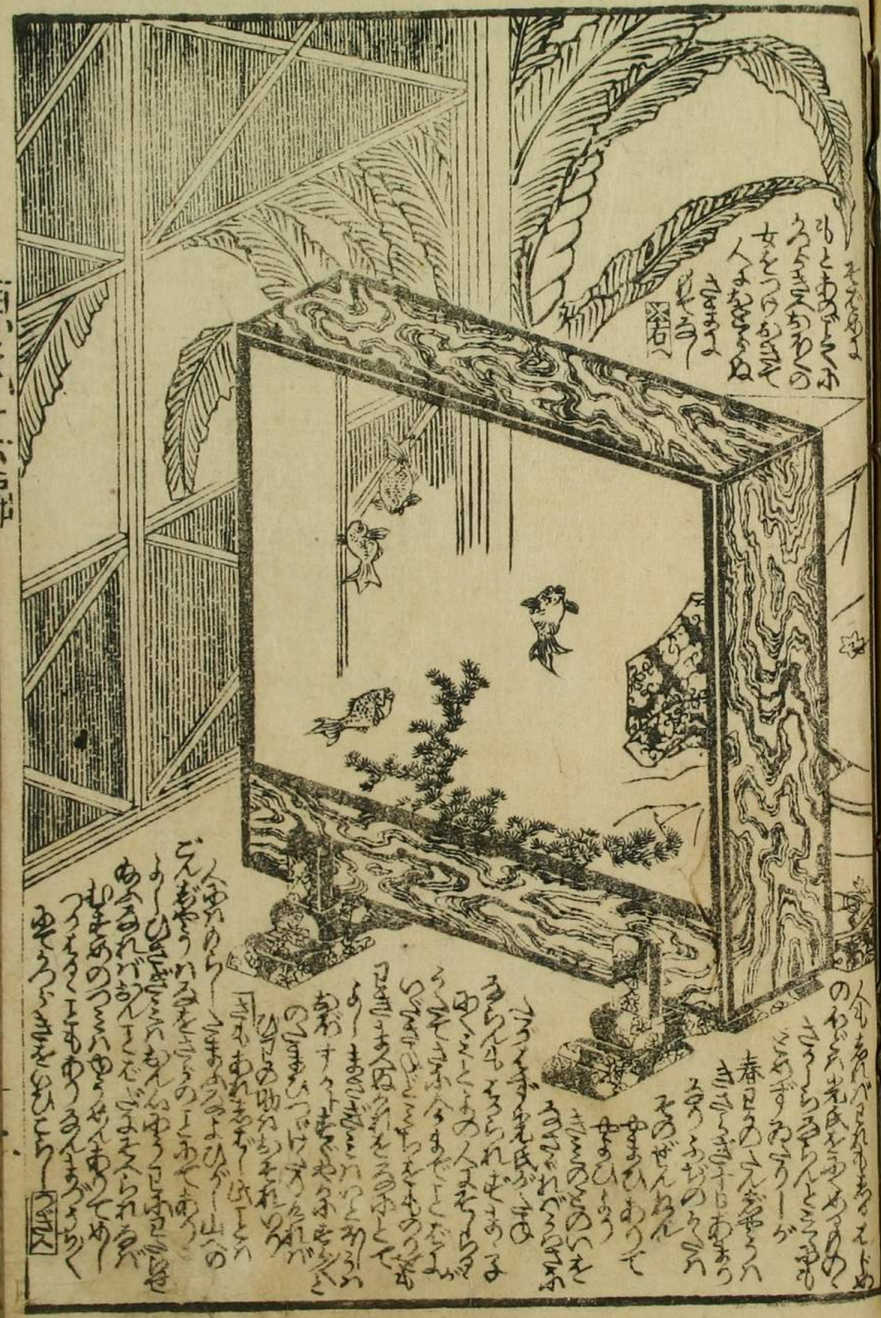
種彦作

田舍源氏

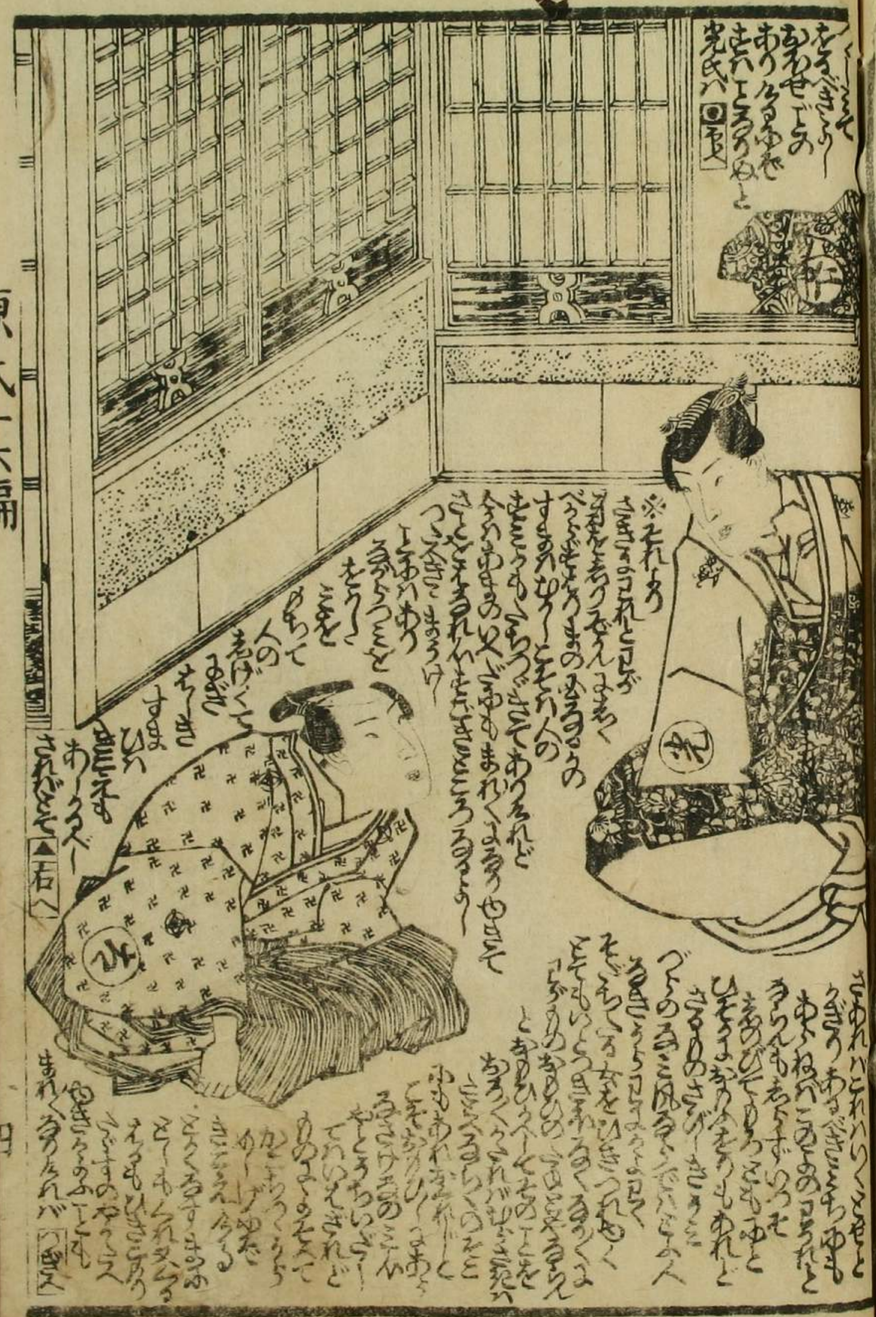
種彦作
國貞画

十六編
下冊

鶴屋壽梓



以下頁だの巻



中
赤

之
ゆ

東橋
南佐久間町
二丁目西側
坂本氏

柳亭種彦作繪草紙三種

彦紫田舎源氏
歌川國貞画
十四編より十七編まで開板仕り

浮浪さうし
歌川貞秀画　六冊

自問自答戯言句合　二冊
歌川國芳狂画

種彦校合

杭琴夢之通路　仙果作　歌川貞秀画　六冊

上州機華綾織　柳亭種彦作　歌川貞秀画　六冊

井筒の乾三子　仙格亭　柏琳作
八百屋の娘　紫房紋多箱　歌川貞秀画　六冊

ちょっと袋入小絵ざし　種彦改作　貞秀画
むう〜噺火さきだア　二冊
昔むかしきちちゑんきく　三冊
笠か〜法浦島ぢい　三冊
茶番のいろは　二冊

美艶仙女香　仙女香湯粉　南伝馬町三丁目西側　坂本氏
黒油美玄香　早稲屋　髪結専用

書物錦繪
團扇地紙
江戸通油町
問屋鶴屋喜右衛門

國貞画　種彦作

浄書　千形道友